

# 一九七七年以前出土の木簡(八)

## 奈良・平城宮跡(第一四次調査)

- 1 所在地 奈良市佐紀町
- 2 調査期間 一九六三年(昭38)二月～一九六四年三月
- 3 発掘機関 奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部
- 4 調査担当者 斎藤 忠
- 5 遺跡の種類 宮殿・官衙跡・都城跡
- 6 遺跡の年代 奈良時代～平安時代初期
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

第一四次調査は平城宮西南隅の確認を目的として、宮西南部で行ったものである。検出した遺構は掘立柱建物一〇棟、南北塀四条、井戸二基等であり、さらに発掘区の南をかぎる農道と水路の南に、二カ所小規模なトレンチをいれて、南面大垣の塼地と二条大路北側溝を検出した。木簡はこの二条大路北側溝から、計七点発見した。木簡はいずれも保存状態がわるく、赤外線写真等によっても釈読で

きなかった。

## 9 関係文献

奈良国立文化財研究所『平城宮発掘調査報告Ⅸ』(一九七八年)  
同『平城宮木簡 一』(一九七五年)

(鬼頭清明)

